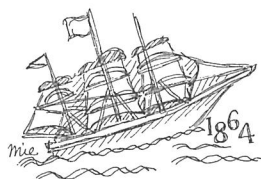


DOSHISHA REPORT



法人部

●第13回国際交流に関するエッセイコンテスト表彰式

1月15日
同志社国際主義教育委員会が国際交流プログラムの一環として、国際交流に関するエッセイを法人内各学校の学生・生徒から募り、国際交流や国際問題に関する考えを発表する機会として実施している。第13回目となる08年度は、日本語部門18点（大学生の部12点、高校生の部3点、中学生の部3点）、英語部門52点（高校生の部49点、中学生の部3点）の

作品応募があった。審査委員会の厳正な審査により受賞者を決定し、大学クラーク記念館クラーク・チャペルにおいて表彰式を行った。日本語部門、英語部門それぞれ最優秀賞、優秀賞、佳作の受賞者に対して、大谷實総長から表彰状と副賞を授与した。

●2008年度同志社総長賞表彰式

3月28日
同志社総長賞は、本法人がスポーツ活動および文化活動の国際大会、国際コンクール等において入賞を果たした優秀な学生、生徒、児童、園児に対して、総長がこれを顕彰することを目的として03年度から設けた。08年度は、大学長、小学校長からの推薦で3人と1チーム（2人）の受賞者を決定し、表彰式を大学神学館礼拝堂で行った。大谷實総長の式辞、野本真也理事長の祝辞の後、大谷實総長から受賞者にそれぞれ表彰状と副賞を授与した。

●同志社キリスト教教育講演会

3月31日
新入社員を対象に、同志社の建学の精神、同志社の歴史、同志社のキリスト教主義等を理解する機会を提供することを目的として、大谷實総長と本井康博大学

神学部教授を講師とし、大学寒梅館で同志社キリスト教教育講演会を開催した。大谷實総長は「同志社の教育理念と教学体制」、本井康博大学神学部教授は、「同志社にするために―創立者からのメッセージ―」を演題に講演した。新入社員はもとより、出席者は改めて同志社の建学の精神等に想いを馳せ、有意義な時間を過ごした。

●2009年度入社式

4月3日
大学神学館礼拝堂において入社式を行った。本年度の採用は、大学教員49人、女子大学教員12人、高等学校教員4人、香里中学校・高等学校教員4人、女子中学校・高等学校教員1人、国際中学校・高等学校教員4人、小学校教員3人、大学職員19人、国際中学校・高等学校職員1人の計97人である。大谷實総長、野本真也理事長の歓迎のことばに続き、野本理事長から一人ひとりに辞令を交付した。

●2009年春の叙勲ならびに褒章

大学名誉教授の安岡重明氏、女子大学名誉教授の児玉實英氏ならびに荻野恕三郎氏が瑞宝中綬章を、大学名誉教授の辻忠夫氏が瑞宝小綬章をそれぞれ受章し、5月14日東京プリンスホテルにおいて伝

達式が行われた。

●第2回同志社研修・交流会

7月1日
建学の精神、教育理念を同じくする法人内各学校の教職員の研修と交流を進め、連携強化を図ることを目的として、昨年度から実施している。第2回目となる今年度は大学尋真館30番教室において開催した。250人以上の参加者があり、事例報告のあった学校の取り組みについて理解を深めるとともに、交流会では日頃接することの少ない各学校教育職員が交流する意義深い機会となった。

●イエール・同志社交流会

7月6日
米国イエール大学校友会AYA (Association of Yale Alumni) の熱心な呼びかけにより、「イエールのグローバル戦略と同志社の国際主義」をテーマに大学寒梅館で交流会を開催した。「ラインの守り」の同一メロディーである両校のカレッジソングを大学グリーククラブOBが斉唱する校歌交歓、八田英二学長による開会挨拶、エドウィン R・キムジー AYA代表の挨拶に続いて、イエール同窓会からデビッド・サンチェ氏が「イエールサバースの日」、エドワード・グリーンバーク氏が「イエール・アルムナイ・コーラスと当財団組織」、同志社が

らは本井康博大学神学部教授が「同志社の新島精神」、大谷實総長が「同志社の国際主義」をテーマに講演、同志社大学生による同志社大学主導の世界学生環境サミットの報告、野本真也理事長による挨拶で閉会。400人の出席者が新島襄から続く両校の親交を深めた。引き続き、キャンパスツアー、新島会館での日本文化を紹介するフロア・エンターテインメント、レセプションを開催し、活発な交流があった。（巻頭グラビア参照）

大学

●東京講座

1月20日、22日、2月3日
新春特別講義「09年の世界を展望する」を東京オフィスで開催。

●「公募制のプロジェクト科目による地域活性化（現代GP）」シンポジウム

2月21日

●「情報環境の整備と成績評価の厳格化（特色GP）」成果報告会

2月23日

●人文科学研究所第64回公開講演会

2月28日

テーマは「大正デモクラシーと現代」。
大東文化大学和田守教授と西田毅大学名

誉教授が講演。

●総合政策科学研究科事業提案発表会

3月1日
社会人対象の「ソーシヤル・イノベーション型再チャレンジ支援教育プログラム」受講生が事業プランを発表。

●上京区災害ボランティアセンター設置協定締結式

3月3日

協定締結により、災害時、法人施設内にボランティアセンターが設置できる。

●薬物乱用防止に関する共同声明を関西大学、関西学院大学、立命館大学とともに宣言

3月7日

●商学部「特色GP」シンポジウム 学生と大学の「幸せな出会い」をもとめて

3月14日

朝日新聞社浜離宮朝日ホール（東京・築地）で朝日新聞社後援によるシンポジウムを開催。「学生と学問」「学生と友人」など大学での様々な出会いを「幸せな」ものにするため、大学教育や初年次の課題を参加者とともに考えた。

●ビジネス研究科、復旦大学（中国上海市）でMBA模擬授業実施

3月26日

●フォーラム「けいはんなのまちづくりを考える」を開催

3月14日

05年11月に始まった「けいはんな知

特区活性化デザインの提案・環境・都市再生の教育プログラムによる学生参加の街づくり(現代GP)の3年半の取組成果を報告。

●逝去者追悼礼拝

4月22日
キリスト教文化センターは、志半ばで在学、在籍中に亡くなった学生、教職員を追悼する機会を両キャンパスでもつた。

●ソウル市立大学校との調印式

4月27日
ソウル市立大学から総長、副学長、前人文学部長が出席し学術交流協定および学生交流協定を締結。

●DOSHISHA Forum in NY on International Strategy開催

6月14日
ニューヨークのタイムズスクエアにあるMarriott Marquisにおいて、現地校友とのネットワーク強化、大学国際戦略の拠点形成等の支援・協力を目的にニューヨーク同志社会の協力のもと開催。

●DOSHISHA Forum in Seoul on International Strategy with Korean Universities

6月20日
韓国ソウルのロッテホテルにおいて大学の韓国でのプレゼンスの向上、多数の留学生の獲得、韓国在住卒業生の絆の強

化を目的としソウル国立大学校、高麗大学校、延世大学校を招き開催。

●グローバル・スタディーズ研究科(届出系統中)開設記念公開講演会を開催

7月4日、18日
文部科学省「平成21年度国際化拠点整備事業(グローバル30)」の拠点大学に選定

●文部科学省「平成21年度大学教育・学生支援推進事業学生支援推進プログラム」に採択

7月7日
大学キャリアセンターの取組「個性を活かした障がい学生のキャリア支援と既卒者の再就職支援」プログラムが対象。

女子大学

●スプリングキャンプ

3月10、13日
昨年度まで実施していた「スキークャンプ」を08年度から「スプリングキャンプ」に変更。「Sense of Wonder」 respect others, nature, yourself and time」をテーマに様々な体験プログラムを沖縄本島と渡嘉敷島で実施した。沖縄本島ではヌチシスジガマやその周辺の自然について学習し、渡嘉敷島ではサードー

アンダギー作り、シーサー作り、貝殻クラフト、体験ダイビングなどの中から希望のプログラムに参加。学科、学年の枠を越えた友達の輪が広がり、アットホームなキャンプとなった。学生29人、教職員5人が参加。

●音楽学科声楽オペラクラス公演「フィガロの結婚」

2月21日
京田辺キャンパス新島記念講堂で、声楽オペラクラスの授業の集大成として《フィガロの結婚》の公演が行なわれた。今回で22回目。オペラクラス受講の4年次生12人が主要な役を演じ、オーケストラ、男性合唱団、裏方スタッフなどの協力者を含め約120人が全4幕、約3時間半に及ぶ本格的なオペラを披露した。熱のこもった演技に、満員に埋まった客席からは惜しみない拍手が送られた。

●同志社女子大学の連携事業

以下のとおり、教育委員会、病院、高等学校、大学とそれぞれ協定を締結し、調印式を行なった。いずれも今後は協議会を設置し、具体的な連携事業に取組む予定である。

2月3日 大阪府守口市教育委員会と連携協力に関する協定

3月30日

大阪市立工芸高等学校(大阪府阿倍野区)との教育連携協定(学芸学部情報メディア学科対象)

4月15日

独立行政法人国立病院機構 京都病院(京都府城陽市)との学術交流等に関する包括協定

5月26日

金城学院大学(愛知県名古屋市中区)との学術交流に関する包括協定

●管理栄養士国家試験合格率98.6%

第23回管理栄養士国家試験が3月に行われ、全国平均合格率が29.0%のところ、08年度卒業生は98.6%(71人受験中70人が合格)であった。食物栄養科学科では年間を通じて対策を行っており、本番に向けて実力を高められるように担当教員一同、全面的なバックアップ体制をとっている。先輩たちの努力が実を結んだ今回の結果を受けて、すでに4年次生は先輩たちに続けと卒業論文と並行して受験準備に入っている。

●ANAエアライン・ホテル体験とホスピタリティスキルセミナー

3月2、4日
ANAグループとの連携協力に関する

包括協定のもと、3日間にわたりANAグループ各社の協力により京田辺キャンパス、全日空グレートタワーホテル大阪、関西国際空港他で実施。各見学・実習場所では活発な質疑応答があり、セミナーを終えた学生からは「憧れていた業界を体験でき、イメージが膨らんだ」「実際に働いている方たちのお話が大変刺激になった」などの声が寄せられた。

●表象文化学部公開講演会

7月1日
今出川キャンパス栄光館にドナルド・キーン氏(日本文学研究者、コロンビア大学名誉教授)を招き、「素顔の日本人文化―人・ことば・出会い」と題して講演会を開催した。日本文学研究者になるきっかけが偶然に手にした『源氏物語』であったことや、研究に専心した学生時代の話、留学生当時、京都での楽しみが通りの道通であったというエピソード。谷崎潤一郎ほか日本の作家との交流など、ユーモア溢れる話に会場からは時折笑い声も起こった。参加者約600人。(巻頭グラビア参照)

高等学校

●卒業式

3月10日
第61回卒業式を挙行し、385人の生徒が母校を巣立った。特に3年間無遅刻、無欠課、礼拝皆出席の生徒の真摯な努力を顕彰し、校祖新島襄の「庭上之一寒梅」に因んで設けた「寒梅賞」の受賞者は、昨年度を上回る14人を数えた。岩倉キャンパスのチャペルは中高統合事業の一環として建て替え中のため、グラントブリンズホテル京都にて行われた。

●学校スキー

3月12、16日
今回は前回を上回る46人の参加があり、スキー、スノーボードの技術向上は勿論、参加者相互の親睦を大いに深めることができた。

●遠足

5月1日
滋賀や京都のキャンプ場を行き先として行われた。全クラスが飯こう炊きを行い、調理に昼食にレクリエーションにと楽しい時間を過ごすことができた。新学期最初のクラス行事であり、クラスメートがお互いをよく理解し合う有意義な場となった。

●**花の日礼拝・施設訪問** 6月18・19日
花の日礼拝は厳肅に行われたが、本年は新型インフルエンザの影響で施設訪問を取りやめ、本校の門衛所、作業員控室に感謝を込めて花を届けた。

●**球技大会**

6月9日
新型インフルエンザによる休校で予定より1週間遅れの開催となったが生徒の熱意が通じ、天候にめぐまれ大いに盛り上がった。教育実習の期間と重なり、実習生と生徒が一体となって応援する姿がグラウンドや体育館で数多く見られた。

●**団体鑑賞**

7月10日
京都テルサにて劇団銅鑼の公演を2、3年生が鑑賞した。演目は「Big Brother」。享受者として大いに感動を味わえたのは言うまでもないが、秋の文化祭（岩倉祭）でクラス演劇を行う3年生は、演劇制作の立場からも学ぶところが多かった。

●**1年生クラス合宿**

7月14・15日
「寝食を共にし、語り合い」を通してクラスの親睦を図る目的で行った。クラスごとに選ばれた実行委員が中心となって計画し、クラス全員が協力するという高校生として理想的な形をとることができた。4月に入学した1年生も遠足や球技大会で親睦を図ってきたが、このクラ

ス合宿によって「クラス作り」が仕上げの段階に入ったと言える。

●**ウエスリー交換留学**

7月24日～8月10日
17年目となるオーストラリア、メルボルンのウエスリーカレッジとの短期交換留学。今年度も9人（男子4人、女子5人）が本校を代表して海を渡った。秋には同カレッジから留学生を迎え、渡豪した生徒の家族が日本でのホストファミリーをつとめた。

香里中高

●**始業式**

●**高2修学旅行**

1月8日
1月28日～2月2日
訪問地が来年度からオーストラリアに変わるため、今年が最後のハワイ修学旅行となった。マキキ聖城キリスト教会での交流、アリゾナ記念館での平和学習、グループ別の自主研修などを中心にハワイの地を生かした修学旅行となった。今年にはアメリカ軍退役軍人のEd Ichiyama氏、Connie氏夫妻から「真珠湾攻撃後の日系人」についての講演を聞き、戦争と平和について考える機会を持つことが



高2修学旅行

の希望を胸に巣立った。

●**グレシャム校受け入れプログラム**

3月24～31日
イギリス、グレシャム校から9人の生徒と2人の先生が来校し、剣道と茶道を体験した。剣道体験では剣道部の生徒と大いに交流し、茶道の先生の指導のもと、日本の伝統文化である茶道を体験した。

●**ヌエバ中学校交流**

3月21～29日
本校からは7人の生徒が参加。現地でホームステイをしながら、ヌエバ中学校と交流を行った。

●**アメリカボストン交流**

3月26日～4月4日
アメリカ、ボストンにて、校祖新島襄の足跡を訪ね、フィリップス・アカデミー、アーモスト大学などを訪問した。

●**入学式**

4月9日
中学校250人、高等学校305人の新入生を迎えた。

●**自転車安全講習会**

4月20日
自転車通学者を対象に安全講習会を行った。寝屋川警察から講師として警察官を招き、中学1年、高校1年約100人に自転車の乗り方の講習会を行った。

●**校祖墓参・オリエンテーション**

4月22～24日
中学1年生



中1オリエンテーション

高校1年生

4月23・24日

4月22日、中学1年生が若王子山頂の校祖「新島襄」の墓前にて礼拝を行った。その後岡山県湯郷温泉で2泊3日のオリエンテーションを行った。スポーツ大会、いちご狩り、アイスクリーム作り、備前焼体験、岡山国際サーキットなどのコースに分かれ、友達作り、クラスでの交流を深めた。

高校1年生は4月23日、校祖墓参の後、近江八幡休暇村にて1泊2日のオリエンテーションを行った。琵琶湖でのドラゴ

できた。また、昨年9月からe-netを交換しているバプテリストアカデミー（HBA）で日本語授業を受けている高校生と今回対面が実現し、お互いに交流することができた。

●**卒業式**

3月6日
3月18日
高等学校、中学校の卒業生がそれぞれ

ンボート体験、琵琶湖博物館の見学、飯こう炊きなどのカレー作りなど、クラスの交流を深めることができた。

●**中3狂言鑑賞**

4月27日
香里園にある能楽堂で狂言の鑑賞を行った。演目は「附子」と「柿山伏」。

●**ヌエバ校生徒の交流**

5月9～16日
アメリカ、サンフランシスコのヌエバ校より6人の生徒が来校。本校生徒宅にホームステイをし、交流した。

●**高2文楽鑑賞**

6月11日
日本橋にある国立文楽劇場にて文楽鑑賞を行った。

●**オーブンキャンパス**

6月28日
小学校6年生約400人を対象に18教室に分かれての体験授業と施設見学会を行った。保護者も含めて約1000人が来校し、大盛況であった。

女子中高

●**3学期の特別礼拝**

12月8日 アドヴェント礼拝
「マリアのウェディングドレス」

美藤章近江八幡教会牧師
1月8日 新年礼拝 森一郎校長
1月23日 創立者永眠記念礼拝

「真の友に出会うために」
野本真也理事長
2月12日 創立者生誕記念礼拝

中学「F1レーサーはなぜ
すこいのか」
高校「『しめた!』と叫ん
でみたものの」
工藤尚子香里中学校・高校
教諭

3月16日 卒業式
終業式礼拝 森一郎校長

高校卒業式(251人) 2月20日
中学卒業式(245人) 3月17日

●修学旅行
中学2年生は3月18〜20日の2泊3日
の日程で九州・長崎方面に。1日目はハ
ウステンボス、2日目は被爆体験者の話
を聞いた後、原爆資料館を見学するなど
午前中は平和学習を体験し、その後長崎
市内で班別に自由行動。3日目は福岡へ。
海の中道マリノワールドを見学した。
高校2年生は3月18〜21日の3泊4日
の日程で沖縄に。1日目は糸満市の平和
祈念公園・資料館を見学し、宮良ルリ先

た。

●1学期の特別礼拝

4月8日 始業式礼拝 太田信幸校長
4月13・14日 イースター礼拝

「信念を持つて走る」
村山盛葦大学神学部助教
女子部創立記念礼拝
「世界で一番良いところ・同
志社女子部」栄光館とデン
トン先生」
白戸紀二六元校長。

5月11日 母の日礼拝

「病児も神様からの素敵な
贈り物」
バンダ園保育士佐原良子先
生
カーネーション販売の収益
金および募金はハンセン病
救済団体の好善社とIDEA
JAPANに送った。

6月4日 春季宗教教育強調週間特別
礼拝「みんなちがっていい」
廿日市教会柴田もゆる教
師。
6月12日 花の日礼拝

「開けてみないとわからな
い」

生の講話を拝聴。2日目は糸数塚・ひめ
ゆりの塔を見学、またエイサーの鑑賞や
首里城などを見学。3日目は東南植物園
見学から「むら咲むら」でサトウキビ収
穫・黒糖作り、琉球舞踊体験などクラ
ス・班別で体験した。

●スキー学会

3月18〜22日
北志賀・竜王スキー場で高校1年生の
希望者約90人を対象に、本校教員のみの
指導でスキーの講習会を実施。上級者は
もとより初心者も最終日にはゲレンデに
颯爽とシュプールを描いた。

●新入生を迎える日

3月25日
校長による奨励の後、宗教教育や授業、
行事、クラブ活動等についての説明、聖
書・讃美歌等の配布があり、入学前の準
備やガイダンス・写真撮影が行なわれ
た。

●国際交流ヌエバ校との交流

法人内4中学校のサンフランシスコ・
ヌエバ校への生徒派遣に、本校からは
多数の応募者の中から選ばれた6人が参
加した(3月21日〜29日)。また、5月
9日からは6人の生徒をホームステイで
受け入れ、11日から本校での授業や課外
活動にも参加した(5月11〜16日)。

●入学式

4月7日



花の日礼拝

上賀茂伝導所浜本京子牧師
●「新型インフルエンザ」余話

5月初旬、日本にも感染者発生。本校
は18日から感染者がみつかった兵庫・大
阪区域から登校する生徒の欠席を認め、
22〜27日は一斉休校とし、22日から予定
していた中間テストは28日から順延。
その影響で中1保護者修養会は7月7日
に、中1墓参も7月11日に延期した。さ
らに6月9日の芸術鑑賞(文楽鑑賞)と

中学校248人

高等学校268人(内、外部生24人)

●遠足

5月7日
中学2年生から高校3年生が各学年ご
とにバス遠足を行い、クラスの親睦を深
める楽しいひと時を過ごした。

●中学1年生修養会

5月7〜9日
兵庫県篠山市のユニピアささやまに
て、今年も「同志社で学ぶ―自分を見つ
め、友達を理解して隣人になろう―」を
主題に修養会を行なった。礼拝と団体生
活を通して同志社教育の根幹であるキリ
スト教主義の教育について学び、また友
人や先生との交流を通して本校で学ぶ意
義を考えた。

●球技大会

高校生は5月13日、中学生は6月17日
に球技大会を実施。バレーボール、ドッ
ジボール、ポルトボール、バスケットボ
ールに、優勝トロフィーを目指して各学
年の覇を競った。

●オープンキャンパス

6月27日
小学生(約700人)、中学生とその
家族を対象に、昨年に続いて実施した。
午前の部、午後の部に分かれ、礼拝のあ
と授業体験(午前・午後23教室)やクラ
ブ活動および校内の施設見学に参加し

国際中高

●入寮宣誓式

4月6日
高校の新入生で両親がまだ海外に在住
していたり、通学困難な遠隔地にいる生
徒たちのために用意された学寮に、49人
の新入寮生を迎えた。

●入学式

4月6日
中学生86人、高校生261人の新入生
を迎え、新島記念講堂で入学式が挙行さ
れた。

●中1宿泊研修・墓前礼拝

4月27・28日
同志社で学ぶ意味や、建学の精神を学
ぶ宿泊研修を、「同志社びわこリトリ―
トセンター」で実施した。プログラムの

最後に若王子を訪れ、創立者新島襄の墓前で入学の報告を行った。

●高1宿泊研修・墓前礼拝

5月7・8日

同志社で学ぶ意味や、建学の精神を学ぶ宿泊研修を、「ウエルサンピア京都」で実施した。プログラムの最後に若王子を訪れ、創立者新島襄の墓前で入学の報告を行った。

●又エバスクール交換プログラム生徒受け入れ

5月9・16日

法人内4中学合同の行事である、又エバスクール交換プログラムの生徒受け入れを、09年度も実施した。9日のウエルカムセレモニーや授業参加、共通のプログラムである「ワダイコ・ナイト」。さらに最終日の修了書授与などを行った。

●中学遠足

6月12日

雨で1日順延となったが、1年生は「今出川周辺キャンパスツアー」、2年生は「海遊館」、3年生は「山城自然運動公園」に出かけ、梅雨の晴れ間、校外での学習を満喫した。

●高校球技大会

6月12日

雨で1日順延となったが、「バレーボール大会」を実施した。

●オーブンスクール

6月20日

入学前高校・中学生を対象に、オープンスクールを実施・入試説明会を実施した。体験授業や入試相談会などを行った。

中学校

●3年生HR委員研修会

4月10・11日

同志社びわこリトリートセンターにて、3年生各クラスのHR委員と執行委員生徒が、学園祭をはじめとする1年間の生徒会活動方針の検討を行った。

●オリエンテーションキャンプ、創立者墓参

4月15・17日

1年生の最初の行事として、4クラスに分かれて実施した。オリエンテーションキャンプでは同志社について学び、クラスの間との飯ごう炊さんを通して仲間づくりのひとときを持った。創立者墓参では、新島襄の墓前に集い入学の報告とともに同志社で学ぶ決意を新たにした。

●遠足

4月17日

2年生、3年生ともにユニバーサルスタジアムへ出かけた。新しいクラスメイトと楽しいひとときを過ごすことができた。

●生徒大会

5月15日

女子大学栄光館で、1年間の生徒会活動の方向付ける生徒大会を行った。各委員会の活動方針や予・決算の提案と質疑応答などの意見交換が活発に行われた。

●春季宗教週間

6月1・5日

法人内5中高合同で春季宗教教育強調週間の礼拝を守った。各地から講師を招き、生徒・教職員ともに深く学ぶことのできるメッセージをいただいた。

2日(火)

J.O.C.S.総主事 大江 浩先生

3日(水) 廿日市教会 柴田もゆる牧師

4日(木) 大阪聖和教会 向井希夫牧師

5日(金) 紫野教会 月下星志牧師

●能狂言鑑賞

6月4日

3年生が京都観世会館にて狂言「盆山」・能「大会」を鑑賞した。

●オーブンキャンパス

6月6日

好天の中オーブンキャンパスを開催した。1600人以上の来校者は、礼拝や模擬授業など多彩なプログラムに参加した。

●演劇鑑賞

6月11日

1・2年生が京都公会館にて劇団うりんこの「Dial A Ghost」を鑑賞した。

●花の日礼拝

6月12日

北六甲教会山本有紀牧師を招き守った。放課後には、生徒会執行委員、ホザナコーラス部、ハンドベル部、ピースリンク部の生徒たちが花を携えて「船岡寮」を訪問し、合唱やハンドベル演奏などを通して交流のひとつときを持った。

●全校バレーボール大会

6月18日

好天に恵まれてバレーボール大会を行うことができた。グラウンドに歓声がこだまする一日であった。

小学校

●同志社タイム ロボットと遊ぼう

2月26日

京都府内に本社があり、電子部品のトップメーカーである(株)村田製作所が、その技術の粋を集めて製作された自転車型ロボット「ムラタセイサク君」と一輪車型ロボット「ムラタセイコちゃん」を携えた開発担当者が特別授業を行った。

低学年の部(1・2年)と中・高学年の部(3・4・5年)の2回に分けて、開発の経過などについて話を聞いた後、実際にセイサク君とセイコちゃんがバラ



ロボットと遊ぼう

ンスを保って走行をしたり、超音波により障害物までの距離を検知して停まる様子を目の当たりにした。子どもたちは驚きの声をあげ、授業の最後には、熱心に質問を投げかけた。

●ひな祭り茶会

3月1日

5年生の茶道クラブ員7人が左京区の茶懷石料理店「下鴨茶寮」において開催された裏千家学生茶道研究会主催「ひなまつり茶会」に招待された。昨年度は、4年生児童全員が客として招待を受けた

が、今年度はクラブ員7人のうち2人が亭主役を受けもち、参加者にお茶をふるまった。

●入学おめでとうの会

4月18日

ワイルドローバー活動(WR活動・同志社小学校の縦割異年齢班活動の名称)として、新1年生を迎える「入学おめでとうの会」を開催した。それぞれの学年が工夫し、学校の紹介や説明を行った。引き続き行ったWR号(班)結団式では、09年度になつてはじめて揃った6年生までの児童全員が各号に集まり、メッセージカードの交換などを通して親睦を深め、新しいグループの出発を喜び合うとともに、今後の活動の確認を行った。

●春の遠足

4月24日

学年ごとのねらいを持って、学年別の遠足を実施した。中でも、1年生と6年生は恒例の「仲良し遠足」として、若王子に眠る校祖の墓参に合同で出かけた。6年生児童が1年生児童に新島襄をはじめ同志社墓地に眠る人々について解説し、創立者の思いや同志社に関わる人々の願い、神のみ業について思いをめぐらした。

●花の日礼拝

5月29日

6月の花の日礼拝を、09年度は学校行

幼稚園

●音楽礼拝・クリスマスイルミネーション点灯式 11月26日
上賀茂伝道所の牧師によるクリスマスイルミネーションの点灯式と音楽礼拝を行った。

●いのちの電話チャリティーコンサート 11月30日

女子大学栄光館で行われた「いのちの電話」チャリティーコンサートに年中・年長組の有志が出演し「かみさまがくれたいのち」等の歌を披露した。

●バプテスト病院訪問 12月5日

年長組がバプテスト病院を訪問し、降誕劇を演じ、その後入院・入所者と交流を持った。

●クリスマス礼拝・祝会 12月19日

大学寒梅館ハーディーホールにてクリスマス礼拝・祝会を催した。年長組のペーレント劇に、年中組は聖歌隊として参加した。祝会では年少組が歌を歌い、全園児、会衆と共にクリスマスをお祝いする。

●同志社クリスマスチャリティーコンサート 12月25日

日の修学旅行を行った。熊本では、花岡山、ジェーンズ邸、徳富記念園など同志社ゆかりの「熊本バンド」にまつわる土地をめぐり、長崎では平和への願いを込めて、被爆者の方からお話を伺うなど、平和学習に取り組んだ。

●2年生花青山の家宿泊体験学習 6月23・24日

2年生宿泊体験学習を1泊2日の日程で花青山の家で行った。北山杉に囲まれた小道をみんなでハイキングをして山の家に向かい入所した。現地では1日目、ウオークラリーやフィールドアスレチック、キャンプファイヤーを楽しみ、2日目は築200年を超える北山民家でちまきとクラフト作りを体験した。

●同志社タイム 宗教特別週間（音楽と語りに祈りを込めて） 7月2日

日本キリスト教団東美教会伝道師でミュージシャンでもある陣内大蔵氏を招き、自然体のトークと素晴らしい歌声を共に楽しみながら、見失ってはいけな大切なものを共有する時をもった。この宗教行事を同志社タイムに位置づけ、児童のみならず保護者にも参加を呼びかけることにより、キリスト教主義の学校ならではの、意義深い取り組みとなった。



花の日礼拝

事の都合で5月に行った。自然の恵みに感謝し、さまざまな感謝を、日頃お世話になっている学校内外の皆さんへ表した。礼拝で一人ひとりが持ち寄りさげた花を、クラスごとに花束にし、カードや寄せ書きと共に渡した。さまざまな方に支えられて、自分たちの学校生活がおこなわれていることを感謝する機会となった。

●6年生修学旅行 6月16・19日

新型インフルエンザの世界的流行の影響により、アメリカのアーモスト、ボストンを予定していた修学旅行の行き先を急遽変更し、熊本・長崎を中心に3泊4



クリスマス礼拝・祝会

えし、触れあう遊びなどで交流を深めた。

●同志社小学校との交流会 2月17日

年長組が同志社小学校1年生の教室を訪れ、ゲームや給食の時間を共有した。帰り際にはお別れを惜しみ、春の再会を楽しみに帰途についた。

●マラソン大会 2月21日

全園児が、日頃練習してきたマラソンの本番として、鴨川の河川敷を走る。保護者の声援に励まされ、雪の中力一杯走る園児の姿が見られた。

●社会・文化体験 2月25日、3月3日

全園児で、「八つ橋庵と刺繍のやかた」「京都タワー展望台」に出かける。公共の乗り物に乗り、園内では体験できない文化的な経験を得た。

●卒園お茶会（年長組） 3月9日

年長児が、卒園の記念と1年間のお稽古の成果を保護者に披露するためお茶を点で振る舞った。

●ケンブリッジ英検表彰式（年長組） 3月9日

2月9日に実施された、ケンブリッジ英検ヤングラーナイズテストの表彰式で受験者全員が賞状を受け取った。

●卒園礼拝 3月12日

卒園を記念して、同志社礼拝堂におい

て年長児とその保護者が礼拝を厳かに行った。

●卒園式 3月16日

在園児、保護者、教員が共に、園児の卒園をお祝した。卒園児の歌声と送辞が園のホールに力強く響き渡り、30人の卒園児が卒園証書を胸に巣立つ。

●同志社小学校との交流会 6月2日

4年生が幼稚園を訪れ、全員で讃美歌を歌った。その後、グループごとに分かれ、小学生が企画したゲームを園児と共に楽しむ交流のひとつを持った。

●未就園児教室（6月8日・30日）

地域の子育て支援の一環として、満3歳児を対象とした親子教室を7回開く。教員の指導で制作や親子触れあい遊び等を楽しむ。

●花の日礼拝 6月9日

園児が家庭から花を持参し、草木を与えてくださった神様への感謝の礼拝を行った。その後、学内や地域の方にお届けし、日頃の感謝の気持ちを伝えた。

●キャンパスミニコンサート 6月24日

講義の昼休みに年長園児達が、今出川キャンパス・明徳館前で青空コンサートを行い、学生、教職員に歌声を届けた。（巻頭グラビア参照）

大学寒梅館で行われた同志社クリスマスチャリティーコンサートに年中・年長組の有志が出演し、アドリウムで「ちいさいひつじが」「涙そうそう」等の歌を披露した。

●同志社幼稚園後援会による親睦会 1月17日

後援会の企画で、年長組が親子でおもちゃつきを行い卒園生と交流を持つ。

●AKP留学生招待お茶会 1月27日

幼稚園にAKP留学生をお茶会でお迎